

NPO 法人

奈良21世紀フォーラム会報

2011年新春号

年頭のご挨拶

奈良 21 世紀フォーラム理事長 森 本 公 誠

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には新春を迎えて、益々ご清祥のことと心からお慶び申し上げます。昨年は平城遷都 1300 年という記念すべき年に当たり、奈良県にはしばらくぶりに大勢の人々が訪れました。当 NPO 法人でも記念事業に参加すべく、聖武天皇・光明皇后御礼服復元制作の監修、天平衣裳による万葉けまりの復元、書道の活性化の一環としての大仏さんにラブレターなど、さまざまな行事が企画され、担当者や会員の皆様の鋭意努力によって、当法人の活動の一端が一般の人々にも周知されるよい機会となりました。



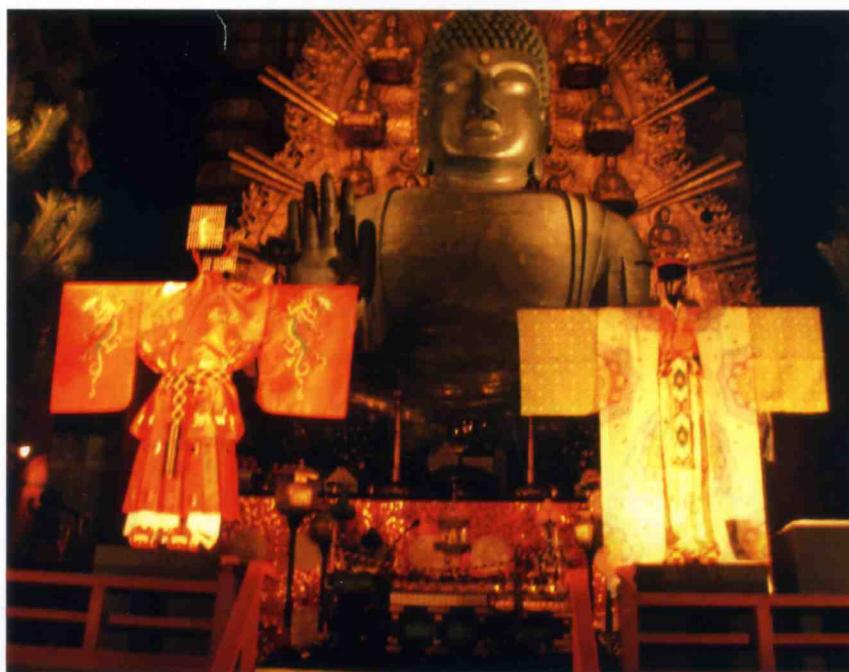
むろん、昨年は記念の年だからこれで済んだということでは、ただ一過性の行事で終わってしまいます。やはり仕切り直しの意味を込めてなり、なんらかの形を変えてでも、継続してこそこれらの事業の意義が生かされていきます。よく観光事業に携わっている方々から、来年、つまり 2011 年の人出が心配だという声を聞かされたものです。しかし心配よりも、どうすれば恒常に人々に来ていただけるか、地元の者が集まり知恵を出し合うことがまず先決なのでしょう。

当法人でもよく似たことは言えるのではないでしょうか。当法人の活動はいかにあるべきか、今年は改めて知恵を絞り出す年のように思えます。会員の皆様もどしどしご意見をお寄せいただいて、奈良 21 世紀フォーラムの活動を盛り上げて下さるようお願いし、新年のご挨拶と致します。

事業の活動状況

1. 聖武天皇と光明皇后の御礼服復元事業

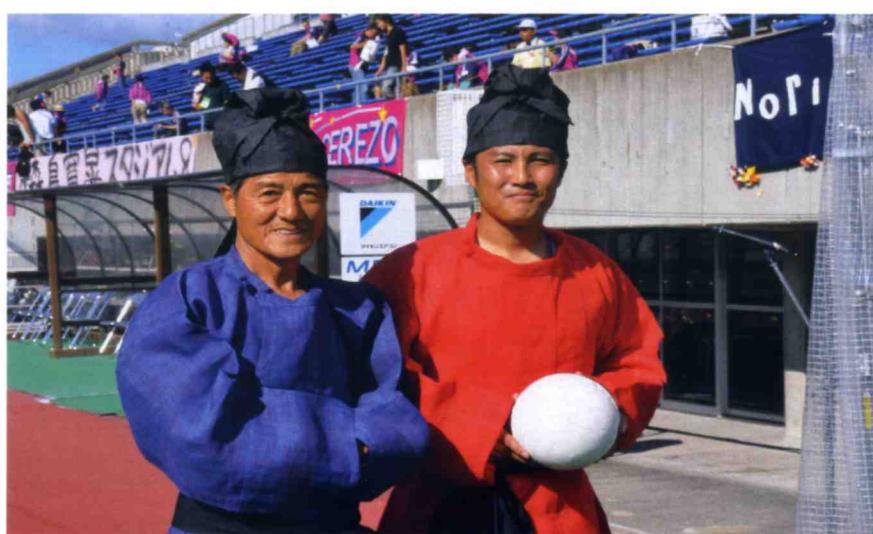
当フォーラムが復元を提言し、近畿日本鉄道が復元制作する聖武天皇と光明皇后が朝賀の儀で御召しになられたと伝えられる御礼服一式の監修に森本理事長、猪熊理事及び武部委員が担当して完成しました。平成22年10月14日東大寺大仏殿にて光明皇后1250年遠忌法要に披露し、併せて奉納行事が執り行われました。



2. 「万葉けまり」の復元事業

(1) 天平様式の衣装の製作

平城遷都1300年祭「古代行事の再現・蹴鞠」の出演にあたり、天平時代の華やかな雰囲気を出すため朝服をきてプレーすることとしました。また、衣装には兵士の気分で襷襦と言われる胸当てを着けゼッケン代わりとしました。なお、衣装は森本理事長、猪熊理事の時代考証により製作しました。



(2) 平城遷都1300年祭県民活動支援事業としての展開

①平成21年10月31日・11月1日 奈良公園登大路園地での披露



両日は「正倉院展」「興福寺国宝特別展」で賑わう奈良公園での披露、訪れた観光客に万葉けまりのルールや復元経緯をまとめたリーフレットを配布しました。

②平成22年3月28日「奈良県まるごと歴史体験博」しきフェスティバルで披露



田原本北小学校で開催され、ゲストに元Jリーガーで奈良県出身の西野努さんを迎えて披露しました。また、観客に飛び入りで蹴鞠の体験をしていただきました。

③平成22年8月28日 大阪長居球技場（キンチョウスタジアム）で披露



Jリーグ21節セレッソ大阪VS大宮アルディージャのゲームに先立ち、演技者としてサッカー元日本代表 森島寛晃さん外3名をゲストに迎えて披露しました。当日は遷都1300年記念事業協会から“せんとくん”も応援に駆けつけPRに努めました。

④ 平成22年10月17日 東大寺大仏殿前庭で披露



光明皇后1250年遠忌法要の慶讃行事として、多数の参拝者で賑わう大仏殿中庭で披露しました。当日は参拝者にも飛び入りで蹴鞠の体験をしていただきました。

(3) 平城遷都1300年祭古代行事の再現「蹴鞠」に出演

平成22年11月6日平城宮跡第1次大極殿前庭にて、飛鳥時代、奈良時代、平安時代に行われた蹴鞠を時代ごとに紹介する行事に「奈良時代」の蹴鞠を再現しました。



3. 書の文化の伝承事業

平城遷都1300年記念

「書くことは楽しい in 奈良」～大仏さんにラブレター～を開催

IT社会においても書が私たちの生活に生き続け、新しい魅力を生み出し続けることを目的とし、書家 紫舟さんを迎えて、平成22年10月2日から3日まで、平城遷都1300年祭奈良市市民連携事業として、東大寺大仏殿と奈良県文化会館を会場に開催しました。

(1) 大仏さんにラブレターワークショップ

大仏殿東回廊において、紫舟さんの指導で、奈良県及び近府県の大学生、高校生、中学生50名が全紙にラブレターを綴って大仏さんに奉納しました。



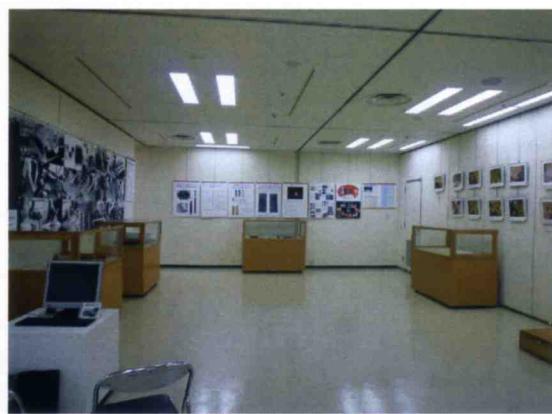
(2) 西山厚さんと紫舟さんのトークショー

奈良県文化会館において、奈良国立博物館学芸部長、西山厚さんと紫舟さんが「奈良と大仏さんと私」をテーマに話し合っていただきました。(300名を招待)



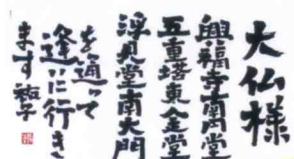
(3) 展覧会

奈良県文化会館において、全国の大学、高校から募集した「大仏さんにラブレター」の内、入選作品50点を展示しました。併せて、書道具の展示、筆づくりの実演、デジタル書の制作実演等を行いました。

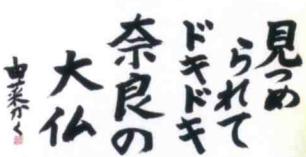


(4) 作品募集

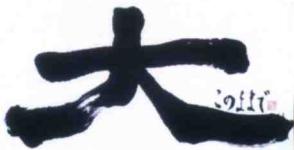
「大仏さんにラブレター」の作品募集を全国600校へ依頼すると共に、市民便り、新聞、ラジオで呼びかけましたところ、408点の応募があり50点が入選されました。その中から特別賞として理事長賞に山風呂元紀さん（聖心学院中等教育学校）、奈良市長賞に長岡顕良さん（東大寺学園高等学校）、朝日新聞社賞に大江桃子さん（福岡県立青豊高等学校）、紫舟賞に藤沢美奈子さん（高松第一高等学校）、奈良製墨協同組合賞に大雲祐子さん（兵庫県立篠山鳳鳴高等学校）、奈良毛筆協同組合賞に東浦瑠衣さん（奈良女子大学）、西山厚賞に須藤由奈さん（鈴鹿高等学校）が受賞されました。



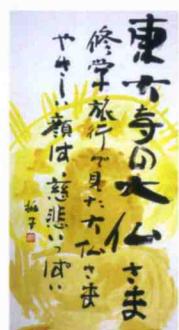
理事長賞



西山賞



奈良毛筆協同組合賞



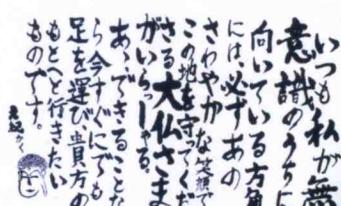
朝日新聞社賞



紫舟賞



奈良市長賞



奈良製墨協同組合賞



審査会場

4. 「吉野川源流の水源地の森を守る」活動の支援事業

(1) 第7回奈良県「暮らし」と環境フェスティバルに参加

平成22年4月3日～4日 奈良県文化会館で開催されたフェスティバルの屋外会場登大路市で「奈良21世紀フォーラムコーナー」を設けました。

吉野地域の特産品の販売、源流の水と水道水の飲み比べ、廃材を利用した子供工作の助言などを通じ、木と水の関わりを理解してもらうことに努めました。



(2) “水源地の村”からの提言シンポジウムに協力

平成22年8月25日 檜原市商工経済会館大ホールで開催された「森と水の源流館」主催のシンポジウム“水源地の村”からの提言「朱雀（南）に学ぶ自然との共生」に協力いたしました。基調講演は、菅谷文則氏（奈良県立檜原考古学研究所所長）が「記紀の建国伝承と吉野・川上」と題して講演され、多数の参加をいただきました。



(3) 吉野川紀の川ふれあいディーに参加

平成22年9月12日 第9回森守募金キャンペーン「吉野川紀の川ふれあいディー」が吉野郡川上村の「森と水の源流館」で開催されました。当フォーラムは吉野郡川上村と姉妹関係の長野県川上村の白菜・レタス・セロリ等と地元川上村の野菜、吉野地方の特産物等を販売しました。参加者からの募金は森林保全事業に寄付いたしました。

5. 食文化の伝承事業

(1) 「限界集落の伝統食を楽しむ会」の開催

平成22年4月27日 今年も川上村高原地区の伝統食を楽しむ会を、東映O B会と合同で開催いたしました。当日は雨の降る上市駅に集合してバスで出発しましたが、雨のやむ気配がないため、予定していた森林見学を取りやめ、現地の「もくもく館」で吉野杉の歴史や林業を通して見た川上村の文化や生活を3Dシアターで鑑賞し、「森と水の源流館」辻谷館長の案内で館内とその周辺を散策いたしました。

その後、高原地区の集会所で地区の皆さんにご用意いただいた川の幸、山の幸など伝統料理に舌づみを打ちました。最後に、地区に伝わる「餅まき」があり、子供心に返って楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



(2) 「大和野菜の賞味会」を開催

平成22年7月17日 奈良町にオープンした野菜にこだわりを持つ店「ひより」で夏野菜の賞味会を開催しました。

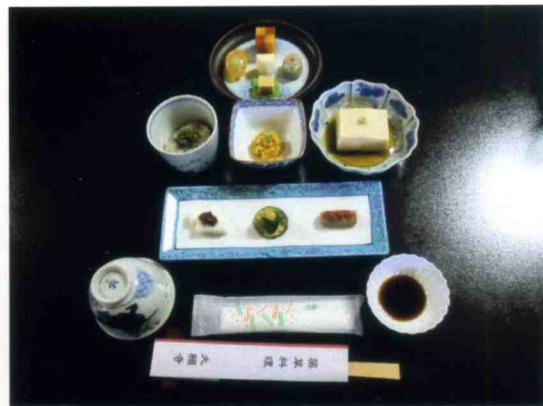
食事の前に当フォーラムの理事で、奈良町の老舗「砂糖傳」でお生まれになられた増尾正子さまに、奈良の昔話を聞かせていただきました。

食事は、大和伝統野菜を中心とした伝統と創作の「大和句膳」で、トマトスープ、インゲンの辛子酢味噌、茄子のタタキ地鶏タタキ添え、じゃがいも饅頭、野菜蒸し鍋、大和丸茄子田楽、大和伝統野菜の天婦羅、半白胡瓜の田舎漬け、大和古代米、自家製のわらびもちなど味わいました。



(3) 大願寺「薬草料理の賞味会」を開催

平成22年10月30日 宇陀市大宇陀区にあります大願寺で薬草料理の賞味会を開催しました。薬草というと苦いイメージがありますが、菊花、紅花、ヤブカンゾウの花、ナツメ、ドクダミ、ユキノシタ、ハッカ、ヨモギ、朝鮮人参、銀杏、クコの実など沢山の材料に手間ひまを掛けてつくられ、食べやすく調理した料理がありました。その後、宇陀松山重要伝統的建造物群保存地区にある森野旧薬園を森野社長の案内で見学し、付近の民家や酒蔵を散策しました。



6. 「神仏靈場会」奈良県ネットワーク支援事業

当県内の寺社ネットワークの推進を支援し、歴史街道推進協議会とも連携、観光事業の活性化に資する活動を行うため、「神仏こころの道～神仏靈場 巡礼の旅～」を企画し、第1回と第2回を実施しました。

第1回 ～いつもとは違う興福寺・東大寺・春日大社を学ぶ～

平成22年11月10日、興福寺では五重塔初層と東金堂後堂の見学、東大寺では森本公誠長老の法話と大仏殿基壇への登壇参拝、春日大社では案内による境内の参拝をしました。

第2回 ～吉野山・金峯山寺と川上村の大自然を体感～

平成22年11月27日、金峯山寺では田中利典宗務総長の法話と金剛藏王権現像の拝観、丹生川上神社上社では宮司の法話と参拝をしました。昼食は川上村高原地区的皆さんによる手作り郷土料理が振舞われ大変好評がありました。

平成22年7月11日 当フォーラムの初代理事長 石橋毅一様（元大和ハウス工業会長・社長）が死去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

故石橋毅一前理事長を偲んで

平成11年10月23日 奈良県文化会館において奈良21世紀フォーラムの第1回理事会と設立総会が開催され、故石橋毅一氏が初代理事長に選任されました。当初から、設立記念イベント経費の負債をかかえてのスタートでしたが、石橋前理事長は当面の運営資金を含め私財を提供されました。

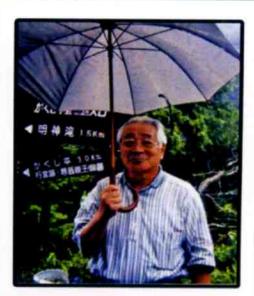
以来、平成19年6月退任されるまで、公職や会社の要職を歴任しながら、自ら大阪ロータリークラブに入会し、奉仕やボランティアなどNPOの勉強をされました。また、フォーラムの運営には資金が必要であることから、県の内外を問わず会員の募集にはご尽力をいただきました。

フォーラムの事業として、「蹴鞠復活」と「樹と人と水の共生～水源地の森を守る～」活動に積極的に取組まれました。

蹴鞠衣装は石橋前理事長と親交のあった猪熊兼勝先生のご協力と山口副理事長のご尽力で完成し、平成14年度の総会を談山神社で催し、蹴鞠を奉納しました。石橋前理事長は、当日「この一年間を通じてしっかり形になったのは、本日披露する“万葉けまり”“あります・・・”と挨拶されました。

また、出身地である吉野川周辺の森林が荒れたまま放置され、かつて名水と言わされた源流が昔日の面影のない状態を知り、林業王国、吉野の森を保全することにより水が浄化され、下流の農産物や飲料水を利用している住民が200万人もいることを考えて、川上村に設立された「森と水の源流館」に協力して環境保全をNPO事業の最優先課題と位置づけ、前面的に支援するよう自らも同村三之公地区まで、雨の中「山蛭」に悩まされながら視察を実施されました。以来、毎年4月の環境フェスティバル、源流まつり、川上村集落の伝統食を楽しむ会、8月の環境フォーラム、9月の森守募金とその支援事業が続けられています。

石橋前理事長を慕って入会された多くの会員は今後も意志を継いで各事業を推進していくことになると思われますが、その功績は大きく、ここに生前の遺徳を偲び、心より哀悼の意を表したいと思います。 合掌



川上村三之公にて

大辻康夫（理事）

奈良 21世紀フォーラムの仕事

設立の趣旨

21世紀は知力、文化力、情報力などのソフトパワーがリーダーシップの根源となり世界に影響を与える時代だと考えます。そして我が国のソフトパワーの強化が問われる時代でもあります。

当フォーラムは、特定非営利活動法人として、シルクロードの終着点・本格的な国際都市「平城京」を始めとする奈良県の精神・文化遺産を継承しながら、奈良の文化力を強化し、世界遺産をはじめとする奈良の魅力を奈良ブランドとして世界に発信し、日本のソフトパワーの強化に貢献することを目指します。

設立の背景

20世紀の後半、航空機の大型化、高速化により約30時間での世界一周を実現し、21世紀に入り本格化したIT革命は、世界中の人々や企業を通信ネットワークで結び、大交流の時代、グローバル社会を迎えました。しかし一方で、経済発展は、地球環境問題をもたらし成長の限界を示すなど、循環型社会への転換がこれから地球世界の課題となっています。

国内にあっては、地方への回帰、地方都市圏の活性化が求められる中にあって、既成の行政や企業が対応し切れない課題に取組み、循環型社会への転換の一翼を担うNPOの活動をめざしていきたいのであります。

活動の目的

奈良21世紀フォーラムは、品格あるまちづくりの推進、地域の文化・芸術とスポーツの振興、奈良と歴史的につながりの深い国々との国際協力、志を同じくする諸団体との協力などを行うことによって、ふるさと・奈良県の一層の活性化と発展に寄与することを目的としております。

この目的を達成するため、日本NPO法では県民の活動分野として12の分野を特定していますが、そのうち次に掲げる種類の特定非営利活動を行っています。

- (1) まちづくりの推進を図る活動
- (2) 文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動
- (3) 国際協力の活動
- (4) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

主な活動

奈良の文化力を盛り上げ、県全域を元気にし、県外の人々にも奈良県への関心を高めてもらい、延いては奈良への来訪客を増やしたいと思い、以下の活動を行っています。

- (1) 伝統文化」の記録と復元
伝統産業アーカイブ、古代儀式の復元、万葉けまりの復元など
- (2) 伝統文化の伝承
書の文化の伝承、食文化の伝承など
- (3) 伝統文化を取り巻く自然環境の保全
吉野川源流の水源地を守る活動の支援
- (4) 他のNPO活動の支援や協働
「神仏靈場会」奈良県ネットワーク支援、奈良芸能文化協会との協働など

理事会構成

理事長	森本 公誠	東大寺 長老
副理事長	堀井 良殷	大阪 21世紀協会 理事長
副理事長	山口 昌紀	近畿日本鉄道(株) 取締役会長
専務理事	江並 一嘉	元近鉄百貨店 副社長
理事	足立伸之助	近鉄ケーブルネットワーク(株) 取締役相談役
理事	安細 恭弘	マルチメディアコンサルタント
理事	飯田 圭児	(株)近鉄百貨店 取締役社長
理事	猪熊 兼勝	京都橘大学 名誉教授
理事	卜部 能尚	ウラベ木材工業 代表
理事	扇谷 泰之	(株)シードコンサルタント 取締役社長
理事	大辻 康夫	奈良町情報館 特別顧問
理事	岡橋 清元	清光林業(株) 代表取締役
理事	岡村 元嗣	岡村印刷工業(株) 取締役社長
理事	樋木 康雄	(株)日昂食品 代表取締役
理事	菊池 攻	奈良トヨタ自動車(株) 取締役社長
理事	久保 昌城	竹茗堂 代表
理事	小山 新造	小山(株) 取締役社長
理事	近東 宏光	共同精版印刷(株) 取締役社長
理事	豊澤 安男	奈良豊澤酒造(株) 取締役社長
理事	中井 隆男	大和ガス(株) 取締役社長
理事	中鳩 實男	奈良中央信用金庫 相談役
理事	中村 憲兒	奈良交通(株) 取締役社長
理事	西口 廣宗	(株)南都銀行 取締役会長
理事	増尾 正子	増尾グループ 常務取締役
理事	森下 泰行	元近畿日本鉄道(株) 副社長
理事	森本 俊一	三和澱粉工業(株) 取締役会長
理事	山本 太治	(株)三輪そうめん山本 取締役社長
理事	吉川 勝久	近畿日本ツーリスト(株) 取締役社長
監事	中鳩 大	中鳩大会計事務所 所長
監事	福嶋 重博	奈良県サッカー協会 名誉会長

(50 音順 平成 23.1.1 現在)

編集 足立伸之助、安細恭弘、福嶋重博、松尾 彰
発行 NPO 法人 奈良二十一世紀フォーラム
〒630-8244 奈良市三条町 511-3 奈良交通第 2 ビル